

# Xperia 1 IV SO-51Cについて

Xperia 1 IV SO-51C（以降はXperia 1 IVと表記）は、NTTドコモのAndroidスマートフォンです。NTTドコモの5G通信規格に対応しており、優れたカメラやオーディオ機能を搭載しています。



## 各部名称を覚える



1 ヘッドセット接続端子	8 スピーカー	14 シャッターキー
2 セカンドマイク	9 nanoSIMカード/ microSDカード挿入口	15 フラッシュ/フライトライト
3 フロントカメラ	10 送話口/マイク	16 RGB-IRセンサー
4 受話口/スピーカー	11 USB Type-C接続端子	17 メインカメラ
5 近接/照度センサー	12 音量キー/ズームキー	18 3D iToFセンサー
6 通知LED	13 電源キー/指紋センサー/ Googleアシスタントキー	19 FeliCaマーク
7 ディスプレイ (タッチスクリーン)		

## Xperia 1 IVの特徴

### ●トリプルレンズカメラ

#### 超広角レンズ

風景などをより広く撮影することができます。  
16mm、約1220万画素 / F値2.2。

#### 広角レンズ

スナップショットや暗い場所でもきれいに撮影できます。  
24mm、約1220万画素 / F値1.7。

#### 望遠レンズ

可変式レンズで遠くの被写体を鮮明に撮影できます。  
85mm-125mm、約1220万画素 / F値2.3-2.8。



### ●21:9 マルチウィンドウとマルチウィンドウスイッチ



21:9の縦長画面を活かして2つのアプリを同時に表示。ニュースやYouTubeを見ながら情報を検索することができます。

マルチウィンドウは、上下それぞれのアプリの画面を横にスライドするだけで、かんたんにほかのアプリに切り替えられます。

# 着信拒否を設定する

Xperia 1 IVでは、非通知や、リストに登録した電話番号からの着信を拒否することができます。迷惑電話やいたずら電話がくり返しかかってきたときに、着信拒否を設定しましょう。

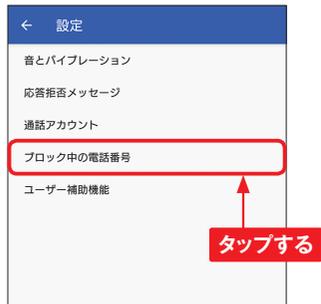


## 着信拒否リストに登録する

**1** P.46手順①を参考に「電話」アプリを起動し、画面右上の「設定」の順にタップします。



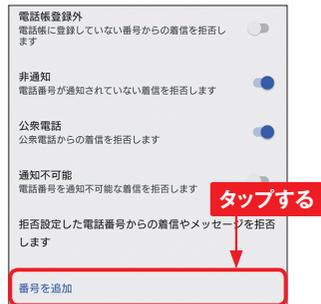
**2** [ブロック中の電話番号] をタップします。



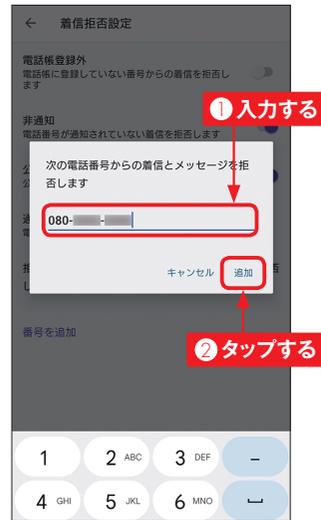
**3** 着信を拒否したい設定をタップし、 にします。



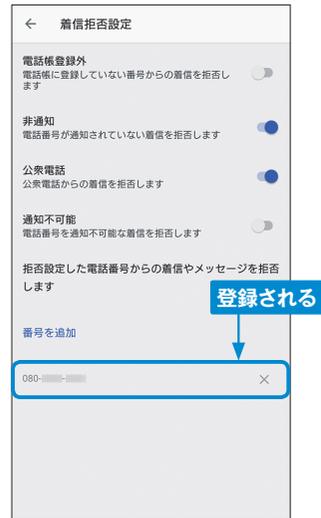
**4** 番号を指定して着信拒否をしたい場合は、[番号を追加] をタップします。



**5** 着信を拒否したい電話番号を入力し、[追加] をタップします。



**6** 「拒否設定しました」というメッセージが表示されたら、登録完了です。



**7** 着信拒否に追加した番号を削除したい場合は、 をタップします。



**8** [拒否設定を解除] をタップすると、着信拒否が解除されます。



# Webページを閲覧する

「Chrome」アプリでWebページを閲覧できます。Googleアカウントでログインすることで、パソコン用の「Google Chrome」とブックマークや履歴の共有が行えます。



## Webページを閲覧する

① ホーム画面を表示して、**Chrome**をタップします。初回起動時はアカウントの確認画面が表示されるので、「同意して続行」をタップし、「同期を有効にしますか?」画面で「有効にする」をタップします。



② 「Chrome」アプリが起動して、標準ではdメニューのWebページが表示されます。「アドレスバー」が表示されない場合は、画面を下方方向にスライドすると表示されます。



③ 「アドレスバー」をタップし、URLを入力して、**検索**をタップします。入力の際に下部に表示される検索候補をタップすると、検索結果などが表示されます。



④ 入力したURLのWebページが表示されます。



## Webページを移動・更新する

① Webページの閲覧中に、リンク先のページに移動したい場合、ページ内のリンクをタップします。



② ページが移動します。**戻る**をタップすると、タップした回数分だけページが戻ります。



③ 画面右上の**メニュー**をタップして、**戻る**をタップすると、前のページに進みます。



④ **更新**をタップして、**更新**をタップすると、表示しているページが更新されます。

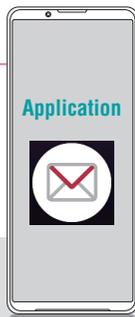


**MEMO Google検索**

P.64手順③で「アドレスバー」に調べたいキーワードを入力して**検索**をタップすると、検索した結果のページが表示されます。キーワードの一部を入力して、下部のQアイコンの項目をタップすることで検索できます。

# ドコモメールを設定する

Xperia 1 IVでは「ドコモメール」を利用できます。ここでは、ドコモメールの初期設定方法を解説します。なお、ドコモショップなどで、すでに設定を行っている場合は、ここでの操作は必要ありません。

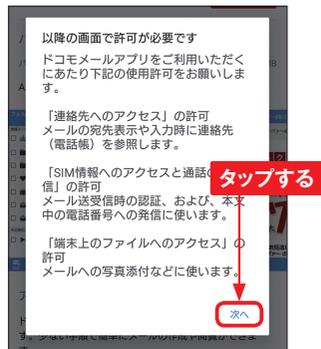


## ドコモメールの利用を開始する

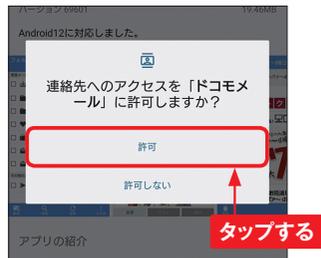
1 ホーム画面でをタップします。「ドコモメール」アプリがインストールされていない場合は、「アップデート」をタップしてインストールを行い、アプリを起動します。



2 アクセスの許可が求められるので、「次へ」をタップします。



3 「許可」を3回タップして進みます。



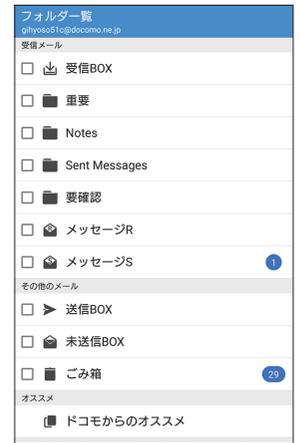
4 「ドコモメールアプリ更新情報」画面が表示されたら、「閉じる」をタップします。



5 「文字サイズ設定」画面が表示されたら、使用したい文字サイズをタップし、「OK」をタップします。



6 「フォルダー一覧」画面が表示され、ドコモメールが利用できるようになります。



7 次回からは、P.74手順①でをタップするだけで手順⑥の画面が表示されます。



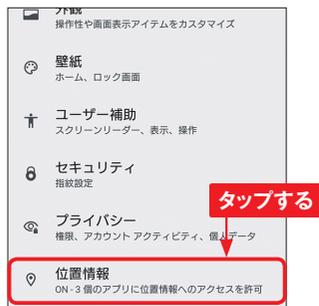
# Googleマップを 使いこなす

Googleマップを利用すれば、自分の今いる場所や、現在地から目的地までの道順を地図上に表示できます。なお、Googleマップのバージョンによっては、本書と表示内容が異なる場合があります。

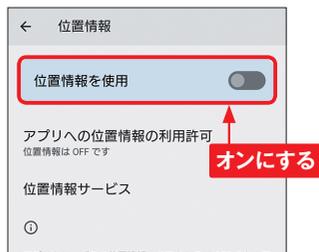


## 「マップ」アプリを利用する準備を行う

- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動して、「位置情報」をタップします。



- ② 「位置情報を使用」がオフの場合はタップしてオンにします。位置情報についての同意画面が表示されたら、「同意する」をタップします。



- ③ [位置情報サービス] → [Googleロケーション履歴]の順にタップします。



- ④ 「ロケーション履歴」がオフの場合は、「有効にする」をタップします。



- ⑤ [有効にする] → [OK]の順にタップすると、ロケーション履歴がオンになります。



## 現在地を表示する

- ① ホーム画面で [Google] フォルダ → [マップ] をタップします。「マップ」アプリが起動したら、現在地をタップします。



- ② [正確] か [おおよそ] をタップして（ここでは [正確]）、[アプリの使用時のみ] をタップします。これで「マップ」アプリが使えるようになります。



- ③ 地図の拡大はピンチアウト、縮小はピンチインで行います。スライドすると表示位置を移動できます。

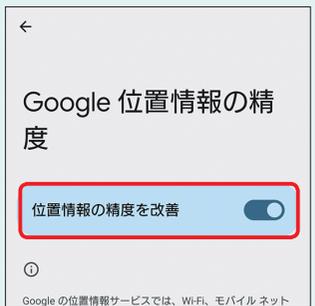


- ④ 現在地をタップすると、現在地が表示されます。



## MEMO 位置情報の精度を変更

P.102手順③の画面で [Google 位置情報の精度] をタップすると、「位置情報の精度を改善」で、位置情報の精度を変更ができます。オンにすると、収集された位置情報を活用することで、位置情報の精度を改善することができます。



# dメニューを利用する

Xperia 1 IVでは、NTTドコモのポータルサイト「dメニュー」を利用できます。dメニューでは、ドコモのさまざまなサービスにアクセスしたり、Webページやアプリを探したりすることができます。



## メニューリストからWebページを探す

1 ホーム画面で [dメニュー] をタップします。「dメニューお知らせ設定」画面が表示された場合は、[OK] をタップします。



2 「Chrome」アプリが起動し、dメニューが表示されます。画面左上の三をタップします。



3 [メニューリスト] をタップします。



### MEMO dメニューとは

dメニューは、ドコモのスマートフォン向けのポータルサイトです。ドコモおすすめのアプリやサービスなどをかんたんに検索したり、利用料金の確認などができる「My docomo」(Sec.38参照)にアクセスしたりできます。

4 画面を上方向にスクロールし、閲覧したいWebページのジャンルをタップします。



5 一覧から、閲覧したいWebページのタイトルをタップします。アクセス許可が表示された場合は、[許可] をタップします。



6 目的のWebページが表示されます。◀を何回かタップすると一覧に戻ります。



### MEMO マイメニューの利用

P.110手順③で [マイメニュー] をタップしてdアカウントでログインすると、「マイメニュー」画面が表示されます。登録したアプリやサービスの継続課金一覧、dメニューから登録したサービスやアプリを確認できます。



## 撮影モード

撮影モードはBASICモードのほかに、P（プログラムオート）、S（シャッタースピード優先）、M（マニュアル露出）、AUTOの4つ。Mモードでは、露出（明るさ）も自由に設定できるので、星空や花火も撮影できます。レンズが絞り固定のため、A（絞り優先）モードはありません。

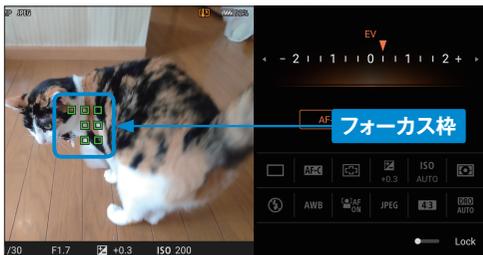


### ● 各モードで操作できる露出機能

	シャッタースピード	ISO感度	EV値
Pモード	×	○	○
Sモード	○	×	○
Mモード	○	○	○
AUTO	×	×	×

## フォーカスモード

フォーカスモードはAF-CとAF-S、MFの3つ。AF-Cは、シャッターキーを半押ししている間、ずっと被写体にピントが合い続け、深く押しすと撮影されます。ピントが合っている部分は、小さい緑の四角（フォーカス枠）で示されます。



AF-Sでは、シャッターキーを半押しするか、AF-ONをタップしたときにピントと露出が固定されます。ピントを固定したまま動かすことで、構図を変更できます。また、ベーシックモードと同様に、画面をタップすると、追尾フォーカス枠を表示できます。



## レンズとズーム

超広角(16mm)、広角(24mm)、望遠(85mm-125mm)の3つのレンズを切り替えて使えます。



レンズ選択時に $\times$ をタップすると、画面を上下にドラッグしてズームすることができます。ただし、ソフトウェアで拡大処理しているため、ズームインするほど画質が劣化します。



## ドライブモード

ドライブモードで「連続撮影：Hi」を選択すると最大200枚まで、「連続撮影：Lo」を選択すると最大100枚まで連続撮影ができます。



### MEMO ファイル形式

写真のファイル形式はJPEG形式とRAW形式、RAW+JPEG形式の3種類で保存できます。RAW形式を選択すれば、未加工の状態写真で保存することができるので、LightroomなどのRAW現像ソフトを使ってより高度な編集を行うことができます。

# 「Video Pro」で動画を撮影する

Xperia 1 IVには、機動性と撮影の柔軟性を実現した「Videography Pro」(以降「Video Pro」)アプリが搭載されています。この「Video Pro」で想いのままに動画を撮影することができます。



## 動画を撮影する

**1** アプリ一覧画面で[Video Pro]をタップします。アクセス許可が表示されたら、[許可]をタップします。説明画面が表示されたら、[次へ]を2回タップし、[了解]をタップします。後は画面の表示に従って進めます。



**2** 撮影画面が表示されます。動画を撮影する場合は、[REC]をタップします。



**3** 「[REC]」の周りの円が赤くなり、撮影が開始されます。もう一度[REC]をタップすると、撮影が終了します。撮影した動画は「フォト」アプリなどから再生できます。



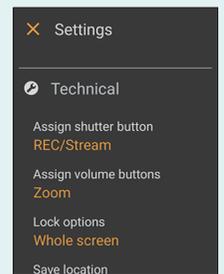
## 設定を変更する



<b>1</b>	シャッタースピード。1/8000-1/30の間で15段階で設定できるほか、Autoも設定できます。	<b>6</b>	Auto。オンにすると、シャッタースピード、ISO感度、ホワイトバランスを自動調整します。
<b>2</b>	ISO感度。2000-64の間で16段階で設定できるほか、Autoも設定できます。	<b>7</b>	Lock。タップして設定項目をロックし、ご動作を防ぐことができます。
<b>3</b>	明るさ(AE)。-2.0から+2.0の間で、0.25ごとに調整できます。	<b>8</b>	オートフォーカス(AF)とマニュアルフォーカス(MF)を切り替えます。
<b>4</b>	ホワイトバランスを設定します。タップして表示される項目から選択できます。	<b>9</b>	ズームスライダー。スライダーをドラッグするとズーム倍率を変更できます。左側のレンズ名をタップしてレンズを変更することもできます。
<b>5</b>	メインカメラとフロントカメラを切り替えます。	<b>10</b>	タップするとそのほかの設定ができます(MEMO参照)。

### MEMO そのほかの設定項目

☰をタップして表示される「Settings」画面では、より詳細な設定を行うことができます。たとえば、「Shooting」→「Object tracking」では被写体の動きを追ってピントをあわせ続けるかを設定できます。また、「Technical」→「Lock option」では「Lock」をオンにしたときにロックする範囲を設定できます。このようにより詳しく設定したい場合には活用できます。



# 指紋認証で画面ロックを解除する

Xperia 1 IVには、電源キー／画面ロックキーに指紋センサーが搭載されています。指紋を登録することで、ロックをすばやく解除できるようになります。



## 指紋を登録する

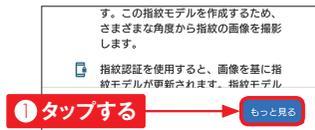
- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動し、[セキュリティ] をタップします。



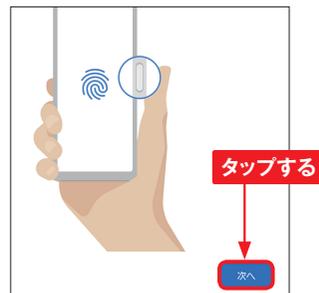
- ② [指紋設定] をタップします。画面ロックが設定されていない場合は「画面ロックの選択」画面が表示されるので、Sec.53を参考に設定します。画面ロックを設定している場合は入力画面が表示されるので、Sec.53で設定した方法で解除します。



- ③ 「指紋の設定」画面が表示されたら、[もっと見る] → [同意する] をタップします。



- ④ センサーの説明が表示されるので、[次へ] をタップします。



- ⑤ いずれかの指を電源キー／画面ロックキー／指紋センサーの上に置くと、指紋の登録がはじまります。画面の指示に従って、指をタッチする、離すをくり返します。



- ⑥ チェックマークが表示されたら、[完了] をタップします。なお、[指紋を追加] をタップすると、複数の指の指紋を登録することができます。



- ⑦ スリープモードの状態でも、手順⑤で登録した指で電源キー／指紋センサー／Googleアシスタントキーをタッチすると、ロックが解除されます。



## MEMO dアカウントに指紋認証を登録する

dアカウントに指紋を設定すると、パスワードを入力するかわりに指紋認証を使うことができます。指紋を設定したあと、「設定」アプリで [ドコモのサービス/クラウド] → [dアカウント設定] → [生体認証または画面ロックで認証] の順にタップし、画面の説明に従って設定しましょう。なお、生体認証を登録する際には、dアカウントのパスワードとネットワーク暗証番号 (P.40参照) が必要になります。

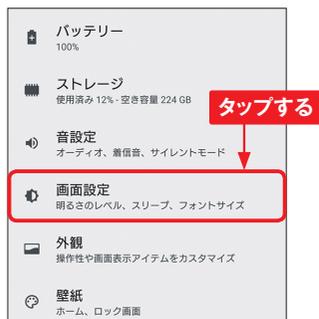
# サイドセンスで操作を快適にする

Xperia 1 IVには、「サイドセンス」という機能があります。画面の左右側面をダブルタップしてメニューを表示したり、スライドしてバック操作を行ったりすることが可能です。



## サイドセンスバーをオンにする

- ① P.18を参考に「設定」アプリを起動し、[画面設定] をタップします。



- ② [サイドセンス] をタップします。



- ③ 「サイドセンスバーを使用する」が [ON] になっているか確認します。[OFF] になっている場合はタップして、 を  にします。



## サイドセンスの動作設定

手順③の画面で [操作性] をタップすると、ダブルタップの感度などを調整できます。また、[操作位置の設定] をタップすると、ダブルタップが有効な範囲の変更が可能です。

## サイドセンスを利用する

- ① ホーム画面などで端にあるバーをダブルタップします。



- ② サイドセンスメニューが表示されます。上下にドラッグして位置を調節し、起動したいアプリ（ここでは [設定]）をタップします。



- ③ タップしたアプリが起動します。



## MEMO サイドセンスのそのほかの機能

手順②の画面に表示されるサイドセンスメニューには、使用状況から予測されたアプリが自動的に一覧表示されます。そのほか、サイドセンスバーを下方方向にスライドするとバック操作（直前の画面に戻る操作）になり、上方方向にスライドすると「21:9マルチウィンドウ」メニュー（Sec.07参照）を表示します。

